

浅海定線調査結果(令和5年12月4日)

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

		令和5年12月	平年値との差 (平年値)	昨年12月との差 (昨年12月観測値)
水温 (℃)	表層	13.9	- 0.7 (14.6)	- 1.8 (15.7)
	底層	13.9	- 0.7 (14.6)	- 1.8 (15.7)
塩分 (PSU)	表層	33.05	+ 0.45 (32.60)	+ 0.80 (32.25)
	底層	33.16	+ 0.48 (32.68)	+ 0.81 (32.35)
透明度 (m)		4.2	- 0.1 (4.3)	+ 0.4 (3.8)

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。
※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1) 水温

- ・ 表層、底層ともにやや低めでした。

(2) 塩分

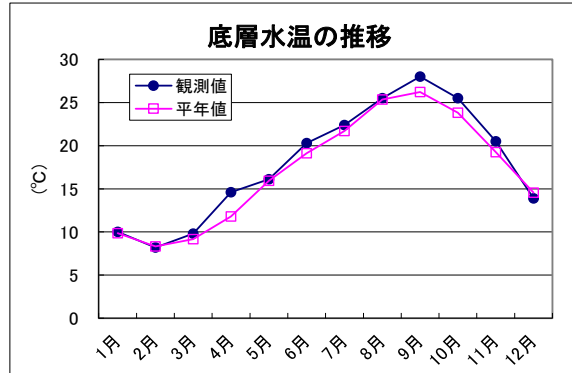
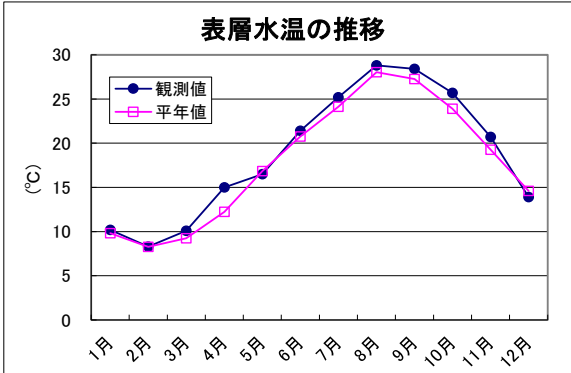
- ・ 表層、底層ともにやや高めでした。

(3) 透明度

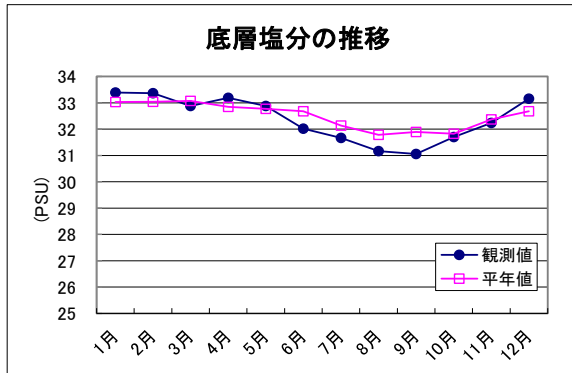
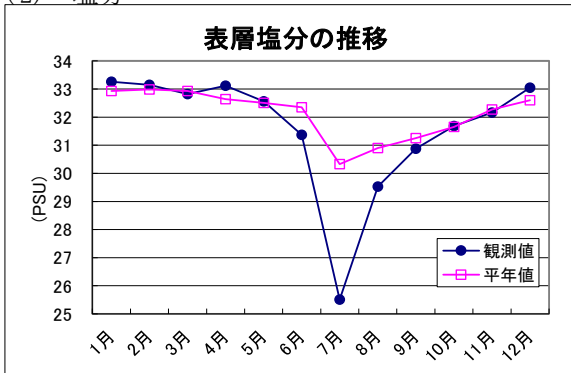
- ・ 透明度は平年並みでした。

調査結果(グラフ)

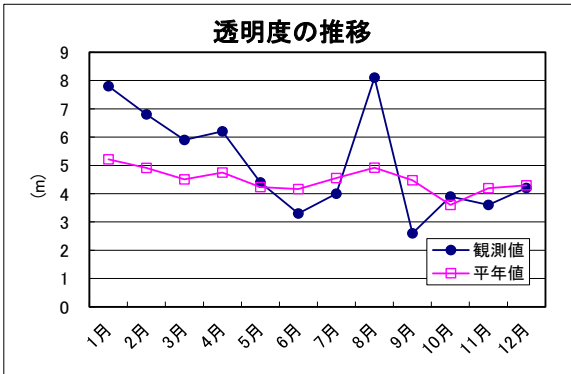
(1) 水温



(2) 塩分



(3) 透明度



3. その他

- ・ 北部と南部の沿岸域調査点の表層と5m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・ 調査区域内で赤潮による海面の変色は見られませんでした。
- ・ 中部海域を中心に傘の径が20cm前後のミズクラゲが密集する海域が見られます

